

教育支援人材とは？

教育支援人材について考えるきっかけ

- * 東京学芸大における学部改編
(教育支援課程教育支援専攻の誕生?!)
- 教員がひとりでクラスの生徒を抱え込む現状
- 多職種連携について考える上でのヒント

教育支援人材と子ども支援人材



「僕らこどもが幸せになるように護ったり、育てたり、そのほかいろいろしてくれる」(子ども権利条約)

教育支援人材と子ども支援人材の境目は？

教育支援人材

- * 継続的・計画的・意図的
- * 学校教育の中
- * 直接的

子ども支援人材

- 偶発的・単発的
- 学校外でも
- 間接的

そもそも教育って？

- * 子どもがひとりの大人として生きていけるための人格形成や能力向上のための機会
- * 生きていく道の選択肢を広げる機会

教育支援人材に含まれる人って？

* 教員は？

- * PTAの保護者は？
- * 横断歩道に立っているシルバー人材は？
- * みんなから好かれている用務員さんは？
- * いのちを守ってくれる警備員さんは？
- * 塾の先生・家庭教師の先生は？
- * 学童の先生は？ ……など

そもそも、実際にはどんな人が教育の場に関わっているのだろうか…？

わたしたちが考える教育支援人材の定義

- * 学校という場で担任をパイプとして支援していく人材？
- * 担任に関わらず、学校教育の場と連携して支援する人材？
- * 教員と生徒の双方向に働きかける支援をしていく人材？
- * 子どもが身近に感じる、教育とつながりを持つ人材？